

いじめ追放への取組 ～生徒の主体的活動を生かして～

目標・ねらい

どんな理由があっても、いじめは絶対に許されるものではないことを理解させる。
自分たちの問題を自分たちの力で解決しようという自治意識を育てる。
本校の学校教育目標である
「知(学び)・情(思い)・意(挑み) 合一」を具現化する場とする。

教育課程上の位置づけ
特別活動

事前指導・経緯

いじめ発生

1・2年生で靴箱へのいたずらの手紙
や上履きへのいたずらが立て続けに発生
する。

緊急全校生徒指導集会

学校内で起こったいじめの現状を全校生徒
に投げかける。
生徒会長・生活委員長・1、2年学年会長
生徒指導主任の話
集会直後、学級でアンケート実施
資料2

いじめ対策委員会

いじめ対策委員会の役割
今後の流れについて
学級訪問について
「いじめ追放宣言」
全校集会役割分担

いじめ撲滅キャンペーン実施

いじめ追放学級会

学級会で、いじめ追放について話し合い、
いじめ追放宣言をつくる。

全校いじめ追放大宣言

全校集会で、各学級のいじめ追放宣言を
集約し、全校でのいじめ追放大宣言を採択

全校評議会

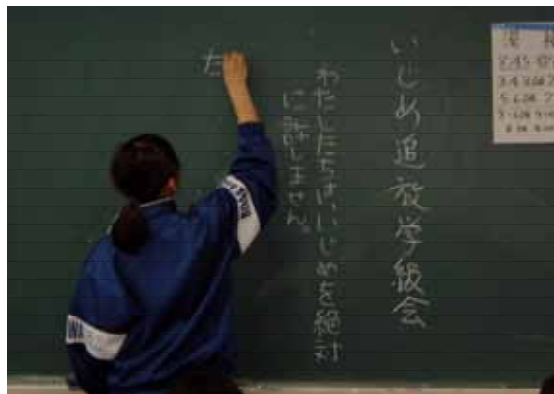
学校内で起こっているいじめについて、
問題を投げかける。
話し合い
「そこまで深刻な問題ではない」
(3年生の意見)
「実際に友達が嫌な思いをしており、す
ぐに解決すべきだ」
(1・2年生の反論)

決定事項

- ・緊急全校生徒指導集会実施
- ・いじめ対策委員会発足
- ・7月に予定していた生活委員会主催
「いじめ撲滅キャンペーン(いじめ追
放週間)」の前倒実施 資料1

職員研修

いじめ追放宣言1
学級採択プログラムについて
学級で語る内容について
いじめ追放宣言2
全校集会プログラムについて



実施内容

いじめ追放宣言

学級会

(各学級ごとのいじめ追放宣言話し合い)

全校集会

(全校のいじめ追放大宣言話し合い、採択)

学級会

- ・いじめ対策委員の話
- ・討議(校内のいじめについて)
- ・いじめ追放宣言書作成
- ・採択
- ・先生の話

資料3

全校集会

- ・いじめ対策委員長の話
- ・各学級の宣言書の読み上げと手渡し
- ・リボン渡し
- ・「いじめ追放大宣言」の採択
- ・校長先生の話

資料4

全校いじめ追放大宣言書採択までの流れ

- 1 いじめ緊急全校生徒集会
- 2 いじめ対策委員会発足
- 3 いじめ追放週間実施
- 4 いじめ対策委員による学級訪問
- 5 学級いじめ追放宣言書採択
- 6 全校いじめ追放大宣言書採択



事後指導

いじめ追放宣言書(学級)の掲示

資料5

いじめ追放大宣言書(全校)の掲示

資料6

リボンを付け「しない・させない・許さない」の各自意思表示

いじめ撲滅キャンペーン実施

学級担任・学年職員の話(随時)

資料7 - 1,2

取組の評価

運営上の留意点

- ・職員の十分な事前研修が必要
- ・生徒のリーダー層への十分な指導が必要

実際に自分たちが生活している場での出来事についての話し合いだったので、生徒の関心・意欲・態度は高かった。また、職員の語りかけも有効であった。

大宣言書はわかりやすく、これからの学校生活に生かされる内容とした。

保護者や地域に学校便りなどで知らせ、取り組みについて理解・協力をしてもらった。

生徒会活動年間計画に組み入れ実施していくことも必要。



1 現状と経過

中学校で起きたいじめは、平成16年度4月から6月現在まで、我々教師がつかんでいる事実だけでも1年生で4件、2年生で3件、3年生で3件あります。

特に、1・2年生の手紙によるいじめは、個人の顔や体格や人格を著しく傷つけるものです。また、「このことは絶対、誰にも言うな、言ったら3年間いじめてやる」という口止めや「おまえなんか、誰も相手にしていない。近づくな、寄るな。学校来るな。」など、徹底して個人を追い込む卑劣なものです。

そこで、1年生は3度、2年生は1度、緊急の集会を行い、いじめを無くすように訴えてきました。しかし、集会を行った後にも起こっているという状況です。

先日の全校評議会では、この問題について話し合いました。当初、「そこまで深刻ではない」とする3年生に対して、1・2年生が「実際に友人が苦しんでおり、すぐに解決すべきだ」と訴える場面があったそうです。

実際に我々教師側にもこの温度差があってはならないと思います。たとえどんな理由があっても、いじめは絶対に許されるものではありません。これを機に、この中からいじめを一掃したいのです。

2 指導計画

- (1) 緊急生徒指導集会 6/7(月) 6校時
全校集会 生徒会長の話 生活委員長の話 1・2学年長の話
生徒指導主任の話
学級活動 アンケート実施(資料2)

いじめ撲滅キャンペーン前倒し実施 6/8(火)～6/18(金)

- (2) いじめ対策委員会発足 6/7放課後
(生徒会本部、生活委員長、学級会長)
- (3) いじめ対策委員会による学級訪問 6/8～6/11
(全校生徒会本部及び生活委員長)
- (4) 職員研修 6/10
- (5) 学級いじめ追放宣言採択 6/11(金) 6校時
全校採択リハーサル 放課後
(別紙資料3)
- (6) 全校いじめ追放宣言採択 6/16(水) 4校時
(別紙資料4)

資料2 いじめについてのアンケート

いじめについてのアンケート調査

いじめ対策委員会

このアンケートは、中学校のみなさんのいじめに対する意識調査です。
自分の考えに近いものを選んで書いてください。

- 1 いじめについて、あなたはどのように思いますか。一つ選んでください。
() いじめるほうが絶対に悪い
() いじめられるほうにも悪い部分がある
() いじめるほうもいじめられるほうも悪い
- 2 いじめの現場を目にしたらどうしますか。一つ選んでください。
() 他人を連れてくる () 見て見ぬふりをする () 必死で止める
- 3 いじめに加わるように誘われたらどうしますか。一つ選んでください。
() 断る () 一緒にいじめる () 側で見ている
- 4 あなたは心を打ち明ける友人がいますか。
() いる () いない
- 5 「いる」と答えた人に聞きます。だれに打ち明けますか。(複数回答可)
() 家族 () 先生 () 友人 () 地域の人
- 6 いじめられやすいタイプの方は、どういうタイプだと思いますか。(複数回答可)
() わがままな人 () うそをつく人 () 自分勝手な人
() 他人をいじめている人 () おとなしい人 () すぐ怒る人
- 7 あなたは、いじめたことがありますか。
() ある () ない
- 8 あなたは、いじめられたことがありますか。
() ある () ない
- 9 「ある」と答えた人に聞きます。どんないじめをされましたか。(複数回答可)
() 無視 () 手紙 () 暴力 () 仲間外れ
() 物をとる、隠す、壊す () 悪口 () その他
- 10 それはいつですか。
() 小学校 () 中学校
- 11 あなたは自分の学校・学年・学級にいじめがあることをどう思いますか。

資料3 「いじめ追放宣言」学級採択プログラム

<p>問題意識の喚起</p> <p>8分</p>	<p>1 号令、挨拶、先生の話</p> <p>2 開式の言葉（副会長） これから 年 組の「いじめ追放宣言」学級会を始めます。</p> <p>3 いじめ対策委員の話（会長）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>今、なぜ「いじめ追放週間」なのか？</p> <p>以前、新聞やテレビの報道でいじめによって、僕たちと同年代の中学生が自殺したという報道を聞いたことがあります。自分で自分の命を絶つというのは、よほどのことがないといけないことだと思います。それほど心の痛手を「いじめ」によって受けていたことを知って、正直に言って驚きました。</p> <p>さらに、つい先日長崎で起きた友人関係のトラブルから友人を殺害するという事件は、言葉にならない驚きです。</p> <p>そして、わがH中でもそれほどひどいことはなくても、それに似たいじめ、あるいはいじめの芽のようなものが起こっていることを知ってショックでした。</p> <p>そこで、いじめ対策委員会を発足し、話し合った結果、「いじめ追放週間」を設けました。これは、7月に生活委員会の計画していた「いじめ撲滅キャンペーン」を6月に行うことでもあります。</p> <p>「いじめ」というものは、小さい子のケンカのようなものではなく、長くつづいて、時には暴力的に、精神的につらい思いをするものです。</p> <p>この機会にみなさんのいじめに対する意識を高めてもらい、人を傷つけたことはないか、いじめたことはないか、また「いじめ」をなくすには私たち一人一人はどうすべきか、真剣に考えてほしいと願っています。そして、いじめが実際に起こっている今、忘れかけている人権の尊重、人に対する温かい心をこの「いじめ追放週間」の間に思い起こしてほしいのです。そのために、「いじめをしない、させない、許さない」をスローガンにして、みなさんに働きかけていこうと思っています。そして、きたる6月14日(月)全校集会で「いじめ追放宣言」を採択したいと思います。</p> <p>今日は、いじめに対する個人の意見、学級の意見、そして全校集会で発表するクラスの宣言文を決めてください。</p> </div> <p>4 討議（司会：議長）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>議長： それでは、今回 中で起きたいじめについていじめ対策委員の さんより説明してください。</p> <p>会長： はい、始めに1年生で起こったいじめは4件です。1件目は、ある人の靴の中に人格を傷つける手紙が入っていました。さらに、「このことを言ったら3年間いじめる」という脅迫的な文章もありました。</p> <p>2件目は、上履きの内側に「バカ・死ぬ」と書かれました。3件目は、からかいの手紙。4件目は、1件目の人にまた、手紙が靴に入れられました。次に2年生のいじめは3件です。1件目は、ある人の靴の中に悪口を書いた手紙が入っていました。2件目は、個人の容姿に対する悪口です。3件目は「ゴミだ、ダニだ、消えろ、学校くるな」という手紙です。3年生は、2件です。靴に悪口を書いた手紙を入れたのが2件と集団で1人をトイレに呼んで注意をした1件です。</p> </div>
<p>展開</p> <p>1 2 分</p>	<p>議長： 今、説明があつたいじめについてどう思ったか意見を言ってください。</p> <p style="text-align: center;"><意見出る></p>
<p>展開</p> <p>2 3 分</p>	<p>議長： それでは、年 組としての「いじめ追放宣言書」(下記)を作りたいと思います。</p> <p style="text-align: center;"><書記、1番～5番を板書する></p> <p>議長： 1番に続く言葉を考えて発表してください。</p> <p style="text-align: center;"><順に2番、3番、4番、5番を考える></p> <p>5 採択</p> <p>議長： 採決に移ります。(いじめ追放宣言を読み上げる)</p> <p>今読んだ「いじめ追放宣言」に賛成の人は起立してください。</p> <p style="text-align: center;"><起立多数></p>

議長： 全員一致で「 年 組のいじめ追放宣言」を採択します。

年 組 いじめ追放宣言書

1. わたしたちは、いじめを絶対に許しません。
だから、()
2. わたしたちは、いじめを絶対に許しません。
だから、()
3. わたしたちは、いじめを絶対に許しません。
だから、()
4. わたしたちは、いじめを絶対に許しません。
だから、()
5. わたしたちは、いじめを絶対に許しません。
だから、()

《例文》

- ・困った時は助けを求めます。
- ・いじめられる人を見たら助けます。
- ・いじめられている人を守ります。
- ・思いやりの心を大切にします。
- ・良いところを認め合います。
- ・見つけたら注意をします。
- ・自分にされて嫌なことは人にしません。
- ・困った人を助けます。
- ・みんなのことを考えて行動します。
- ・公平で差別のないクラスを作ります。

- ま
と
め
- 6 先生の話
 - 7 閉式の言葉（副会長）
 - 8 号令、挨拶

2
分

資料4 「いじめ追放宣言」全校集会プログラム

「いじめ追放宣言」全校集会プログラム（6 / 16 4校時）

進行：（いじめ対策委員）

- 1 号令、礼（体育委員長）
- 2 開式の言葉（いじめ対策委員）
- 3 校歌斉唱（指揮）（伴奏）
- 4 いじめ対策委員長の話（生徒会長）
- 5 各学級の宣言書の読み上げと手渡し（プロジェクター使用）
会長×12学級 いじめ対策委員長
 - ・さんどうぞ 「……………」
 - ・3年2組お願いします 「……………」
 - ・君どうぞ 「……………」
 - ・3年3組お願いします 「……………」
 - ・2年3組お願いします 「……………」
- 6 リボン渡し
いじめ対策副委員長（生活委員長） 会長×12学級
1年生会長起立 2年生会長起立 3年生会長起立
- 7 「いじめ追放大宣言」の採択（いじめ対策委員長） プロジェクター
 - ・今のいじめ追放大宣言に賛成者は起立してください
全校の生徒を確認する
 - ・全員一致で賛成と見なします
 - ・中のいじめ追放大宣言は採択されました。
- 8 校長先生のお話
- 9 閉式の言葉（いじめ対策委員）
- 11 号令、礼（体育委員長）
退場

資料5 いじめ追放宣言書例（各学級）

いじめ追放宣言書

- 一 私たちは、いじめを絶対許しません。
だから、
**一人一人が相手のことを考えて行動
します。**
- 二 私たちは、いじめを絶対許しません。
だから、
**いじめられてる人を見たら自分達で
助けられるようにします。**
- 三 私たちは、いじめを絶対許しません。
だから、
**周りの人でいじめをおこさない環境
作りをします。**
- 四 私たちは、いじめを絶対許しません。
だから、
**自分が言われていやなことは人にも
言わないようにします。**
- 五 私たちは、いじめを絶対許しません。
だから、
いじめてる人を見たら注意します。

平成 年 月 日

年 組 一 同

（ 大きい文字が学級で決定した部分）

資料6 いじめ追放大宣言書（全校決定版）

いじめ追放大宣言書

私たちは、常に失敗や過ちをおかしながら生きています。
しかし、絶対に許してはいけけない過ちがあります。絶対に許してはいけません。いじめの傷は薬を塗りつけても治りません。人の悪口をいつたり、
こともあります。人の悪口をいつたり、
めです。
私たちは、今回、全校集会や学級会で
いじめられる人のつらさや悔しさを知り、
お互いの人権を尊重し合うことの大切さを学びました。
人間の本当のすばらしさは優しさ仲間を大切にすることです。
この人間の持つすばらしさをなくさないために、
中学校の生徒は、この 中学校からいじめを絶対無くし、
挨拶・礼儀・態度全国ナンバーワンを目指すことを誓います。

平成十六年六月十六日

いじめ対策委員会 全校生徒一同

資料 7 - 1 いじめ対策緊急集会から学級宣言までの評価

一連の流れを出して取り組んだことは良かったと思います。しかし、やはり学級でのおろし方にはやや差があったような気がします。全校からクラスの前に学年でクッションがあってもよかったような気がします。今後、各クラスでどのように継続的にやれるか。

生活委員長の話がとても印象に残った。その真剣さに「大変なことが起きているんだ」と感じた生徒が少なくなかった。またいじめの問題でこれだけ全校で、生徒会、委員長、教師が本気になって取り組んでいる様子が、これからの同じようなことに対する抑止にもなるし、いじめで悩んでいる生徒にとっても「先生達に相談してみようかな」という気持ちを持たせることができると思う。学級宣言会ではクラスの中でいじめに対する意見を全員から聞くことができ、とてもよかった。

時間をかけてじっくりやりたいものでした。ただ、こういう取り組みをすることの意義が大きいと思います。

いじめが実際にあったり、その為に不登校になっている者もいるのでほとんどの生徒が前向きに考え意見を言った。しかし、いつもそうだが、いじめる側に関わる者ほど真剣に受けとめられない場合が多い。

学級では会長を中心に一生懸命考えた。今がチャンスだと思う。全員の意見を聞いた。特にこのクラスには「いたずら書き」をされた生徒がいるので、それぞれの思い「いじめはゆるさない」という気持ちが言葉となって表れたすばらしい時間だった。

内容が重い電話であること、実態の違いにより学年による差も最初はあるように感じたが、発言を求めたりすることにより、またある人の発言をきっかけに「いじめ」を真剣に考えるよい機会となったと思う。

いじめる方でも、いじめられる方でもない自分はその他大勢の一人だと他人事のように考えている仲間の心を動かすことのできる空気をもっと強く感じられたら、いいのと思いました。一人が説得力のある話をして大勢が動かなければ、何も変わらないと思います。

全校集会評議会で話をしてから修学旅行、陸上とやや間があいてしまったのが残念です。問題提起をして、すぐ動けばもっとリーダー達を中心に真剣にできたのではと思います。しかし、こうした問題を真剣に話し合える教師が語れる学校は本当にすばらしいと思います。

今回の学級の話し合いを通して、学級の生徒が自分たちの問題を自分たちで解決する仕組みを学んだ。担任としても、きちんとした学級会をこれから教えていかなくてならないと感じた。その前に、今回の研修のように学級会の基本的な流し方を研修したい。

事前の研修はあったにせよ、全学級であるレベル以上の展開ができたことがなによりすばらしい。単なるいじめの話し合いではなく、担任と生徒の関係を一層強く結びつける取り組みだったと思う。全職員で、全学級で、全生徒で同じ取り組みを実施する。こういう取り組みが学校全体を更に良くする。今回関わった生徒達を多に褒めてやりたい。

学級でも実のある話し合いができたように思います。ただし、やはり生徒の温度差は感じられました。感想では絶対いけないと書いている者が教育相談の中でいじている者がいる。あの宣言文に常に帰らせていきたいと思う。

資料 7 - 2 いじめ追放全校集会の評価

各クラスの宣言文が発表され、改めて生徒達は全校で取り組んでいるんだということを実感したと思う。「 中学では絶対いじめは許されないもの」という雰囲気がとてもよかった。また、大宣言の指導もすばらしいと思った。これから、各クラスが宣言をどのように生かしていくかが重要だと思う。教室への掲示も工夫したい。

厳粛に行われとてもよかったと思います。各クラスの会長が宣言文を読む時にクラス全員が起立するというのもよかったかもしれません。こういう集会をやった事がすばらしいと思います。

全校生徒の目が集中していた。大切なことはこれからどう動くかということ。教師と生徒が教育相談を通して更に密になったと思うのでこれからであると思う。

ほとんどの生徒が顔をあげ、真剣にまじめな態度で参加しており、すばらしかった。せっかく、プロジェクターを使用したのに字が小さく見づらかったのが残念だった。発言者及び答弁者の次の人は自席からではなく近くに待機していてもよかったのではないかと。全校で取り組むぞという意気込みと重大な問題なんだという意識を一人一人に 持たせるためにもよい集会だったと思います。

いつもの集会とはどこが違う。という雰囲気はとてもよかったと思います。少数の良くない空気をまわりが変えていける集団であってほしいと思います。

いじめというデリケートな問題は大きく扱えば扱うほど難しい。その問題を全校集会までもっていき、大宣言文を採択するという一連の流れをやりきったところに 中学の進化を感じた。生徒も職員もすばらしい。

厳粛な中での集会でとてもよかった。自治という言葉が出てきたが、集会後「今の発言はまずいのでは」などお互いに発言する場面も増えてきて意識は高まってきている。今後につなげていきたい。まさに、スタートですね。

これまで学級内の話し合いやいじめ対策委員による学級訪問などさまざまな取り組みがありましたが、生徒の何人かにはまだ、私はやってないから関係ないという様子が見られました。しかし、今日の集会では今まで以上に生徒の顔つきも変わり、 中学からいじめをなくそうという意思が伝わってきたような気がしました。

他の生徒も真剣に聞いていた。各クラス毎にいじめ追放宣言を考えて発表させたのも、いじめ対策集会での話をもう一度振り返り、自分なりにいじめ問題について考えさせるよい機会になったのではないかとと思う。